

# 平成28年度兵庫県立姫路商業高等学校 学校評価結果報告書

## 1 学校運営の目標・方針

夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する生徒達の「生きる力」を育むとともに、高い規範意識を持ち、思いやりの心溢れる生徒を育成する。さらに、高い教養と豊かな人間性を持った産業人として、国家社会の発展に貢献できる生徒の育成に努める。

## 2 28年度の重点目標

- ① 体験的な学習を充実するなど、指導内容・指導方法の工夫改善に努め、生徒が学習内容を十分理解し、学ぶ喜びや成就感を味わえる指導を展開するとともに、多面的な評価観点に立って、個に応じた学習指導の徹底を図る。
- ② 互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切にす心の教育を推進するとともに、教育相談体制を充実させ、教育活動全体を通じて多様な人々と共生する態度を養い、社会の構成員としての自覚や協調性を培う。
- ③ 震災の教訓を生かし語り継ぐ地域の実態に応じた兵庫の防災教育の推進を図り、人間としての在り方生き方を考えさせ、生命の尊さやボランティア精神の大切さなどを体得させ、緊急時にも適切に対応できる態度や能力の育成に取り組む。
- ④ 教職員自らが社会の変化に対応し、高い使命感と倫理観を備えた教育の専門家としての自覚を高揚し、資質能力の向上に努める。
- ⑤ 学校情報の積極的な提供並びに説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域社会及び関係機関との連携協力を一層密にし、安全で安心して学べる環境づくり、開かれた学校づくりを進める。

## 4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- ・内部評価において、関わっている質問に対して、「E：わからない」の回答があることに疑問を感じる
- ・内部評価において、理解し難いコメントもあったが、正直にコメントされ、職員の現状がわかるものとなっていると思われる

## 5 総合的な学校関係者評価

- ・昨年度に比べると、本年度はコメントが増えており、職員の意識の高まりを感じる
- ・毎年スポーツで優秀な成績を残す生徒が多い上に、今年度は資格取得においても素晴らしい結果を出し、文武両道、学習指導が行き届いていると感じる
- ・地域での活動も多く行われ、連携交流が進んでいると感じる
- ・職員の指導により、礼儀正しい生徒が多く感心する
- ・携帯電話の件など保護者の意見も今後取り入れる必要性を感じる

## 3 学校自己評価 (A：よくできる B：できている C：あまりできていない D：できていない E：わからない)

領域	評価項目・取り組み内容	達成状況	学校の取り組み状況・改善の方策
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年 1 学年 2 学年 3 学年</li> <li>・開かれた学校づくり 学校評議員制度などを活用した学校運営の推進 広報活動の推進 学校施設や教育資源の地域への開放 家庭や地域の人々への情報発信</li> <li>・教職員の資質向上 実践的指導力の向上 計画性を持った研修の実施 情報技術の向上</li> <li>・職業指導 職業指導体制の充実 職業観・勤労観の育成と進路意識の向上 主体的な進路選択能力の育成</li> <li>・進学指導 進学指導体制の充実 職業観・勤労観の育成と進路意識の向上 主体的な進路選択能力の育成</li> <li>・生徒指導 生徒指導方針の確認と指導体制の推進 生徒の内面の理解を図る指導の工夫 生徒の自主・自立精神を育む指導の工夫 家庭・地域関係機関と連携した危機管理体制の推進 生徒に対する交通安全指導の充実 生徒に対する防犯教育の充実 ボランティア活動 自主的・実践的な活動の活性化</li> <li>・危機管理体制の整備 実効あるマニュアルの策定 ITシステムの危機管理</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信7回、学級通信発行、個別面談の実施、進学・就職指導部との連携</li> <li>・学年通信7回、学級通信発行、個別面談の実施、進学・就職指導部との連携</li> <li>・学年通信12回発行、進路実現に向けた学力向上、面接指導、個別面談の実施、学校行事の積極的参加</li> <li>・学校評議員の意見を学校経営の改善に役立てる</li> <li>・中学校訪問、オープンハイスクールで本校の特色をアピール（情報科学科）</li> <li>・体育施設の開放、小中学校との連携</li> <li>・Webページを常に更新し、情報の発信をしていく</li> <li>・教科会議の充実</li> <li>・資質向上のための研修開催（人権教育・カウンセリングマインド等）</li> <li>・情報技術の操作技術向上のための研修開催</li> <li>・学年と連携した会社訪問を行い就職情報を提供する</li> <li>・生徒の発達に応じたキャリアガイダンスの実施</li> <li>・インターンシップを充実させ、進路選択能力を育成する</li> <li>・定期的な進学委員会の実施により、進学情報を共有し共通理解を図る</li> <li>・進学説明会の実施を定期的に行う</li> <li>・オープンキャンパスへの参加促進や卒業生の体験談を聞く場を設定する</li> <li>・情報の共有、一貫性・継続性のある指導</li> <li>・キャンパスカウンセリングの定期的実施、教育相談体制の確立</li> <li>・生徒会の自主的運営、積極的参加の促進</li> <li>・PTA、少年サポートセンター等との連携、情報共有</li> <li>・登下校時の通学指導、交通ルールを守る規範意識の育成</li> <li>・防犯情報の提供、防犯方法の提供</li> <li>・文化遺産についての学習、姫路城清掃活動への積極的参加</li> <li>・PTA、地域社会、関係機関との積極的コミュニケーション</li> <li>・学校防災マニュアルを参考にした内容の充実 ・緊急連絡システムの活用</li> <li>・機械警備を導入した</li> <li>・校内ネットワークの管理基準の整備</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び自ら考える力の育成 体験的・問題解決的な学習の展開</li> <li>・個に応じた学習指導の徹底 評価方法の創意工夫 指導形態の工夫</li> <li>・基礎基本の定着 生徒の学力の把握と評価基準の設定 学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫</li> <li>・情報教育の推進</li> <li>・授業時間の確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的学習の実現、問題解決的学習の充実、図書活用の奨励</li> <li>・自らの進路実現に向け、主体的に取り組むための選択科目の充実</li> <li>・共通理解に基づく評価、履修状況の確認、計画的な授業の実施</li> <li>・習熟度別等、個に応じた学習指導の工夫、教育機器の有効活用</li> <li>・研修会、研究会への参加による授業力向上</li> <li>・理解度・到達度の把握、教科・単元ごとの観点確認</li> <li>・考えさせる授業の展開、学ぶ力・考える力を得られる授業の工夫</li> <li>・生徒の理解を促す発問・板書の工夫</li> <li>・学校行事の厳選による授業時間の確保</li> </ul>
課題教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の個性化・多様化 特色ある教育課程の編成 高大連携 インターンシップ 外部講師の活用 起業家教育・実践能力の育成</li> <li>・情報教育 情報活用能力の育成 情報モラルの育成 情報機器や情報通信ネットワークの活用</li> <li>・人権教育 人権教育推進体制への取組  確かな人権意識の育成</li> <li>・防災・安全教育 教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上 実践的な安全教育への取組み</li> <li>・体験活動および環境・福祉教育 地域貢献事業の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な選択ができる総合選択制の編成</li> <li>・大学の先生の指導を仰ぎ、専門性の深化を図る</li> <li>・将来の進路を見据えた職業観の養成</li> <li>・積極的な人材活用</li> <li>・商業の実践力の向上、社会貢献のできる人材育成</li> <li>・教職員のITスキルを向上し、授業への展開を推進する</li> <li>・情報モラルを強化し、思いやりの心を育む</li> <li>・機器・ネットワークの管理、更新を行う</li> <li>・人権教育講演会、映画について感想文を書き感想文集を作成し、HR資料とした</li> <li>・人権教育LHRを充実させるために指導案および資料について検討・工夫をした</li> <li>・年度のテーマに沿った職員研修会を実施し、指導の向上を図った</li> <li>・人権標語の応募などにより人権意識の高揚を図った</li> <li>・定期的に訓練や応急処置の講習会をおこない実践力の向上を図る</li> <li>・あらゆる場面を想定した防災安全教育の確立を図る</li> <li>・地域に密着した体験的活動を通じて生きる力を育む</li> </ul>

## 6 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議委員会も適切に開かれており、学校の様子を丁寧に説明を受けている</li> <li>・学校から保護者宛の配布物が、親の手元に届かないことが多々あるので配布方法を考える必要がある</li> <li>・もっと、ホームページを活用することを考えればよいのではないかと</li> <li>・ホームページに各行事の具体的な日時等の記載をしてほしい</li> <li>・企業とのさらなる連携を期待する</li> <li>・1 学年から本人、保護者に対して進路に必要な資格や大学の情報が必要</li> <li>・職員によって指導の違いがあり、連携不足を感じる</li> <li>・しっかりと生徒指導されている</li> <li>・もう少し生徒の自主性に任せればよいのではないかと</li> <li>・警報時のメール連絡等のさらなる活用が望まれる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得の実績からも達成レベルは高いと思う</li> <li>・部活と資格取得の補習等の時間のさらなるバランスを考える必要がある</li> <li>・昨年度より「A：よくできている」「B：できている」の回答が増えており、よいと思う</li> <li>・もう少し生徒主体の学校行事になればと思う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様に取り組まれている</li> <li>・評価もよいと思うので、学校の個性をこれからも積極的に伸ばして欲しい</li> <li>・今後さらに情報モラルに対する教育を望む</li> <li>・姫商生の持てる力を地域にさらに貢献できる機会を作ってほしい</li> </ul>

